



2022年9月22日

森下仁丹株式会社

報道関係者各位

～個人でできる身近な社会貢献を全社で推進～

長年の献血活動について 厚生労働大臣より感謝状が贈呈されました

森下仁丹株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長 森下雄司、以下「当社」）は、当社 健康保険組合が長年取り組んできた献血活動について、厚生労働大臣および滋賀県赤十字血液センター長から感謝状が贈呈されました。

当社 健康保険組合は1926年（大正15年）に設立され、人々の健康に寄り添うヘルスケア企業としての活動はもちろん、従業員とその家族の健康へも目を向け健康保険組合の活動を推進しております。業祖 森下博から受け継がれる「济世利民」の信念を礎に、血液不足の解消に対しても少しでも貢献したいと考え、1984年より献血活動への協力を続けています。献血バスの積極的な誘致や近隣の献血会場リストの配布、地元企業などと合同開催される献血活動への参加など大阪・滋賀・東京の各拠点の状況に合わせて献血活動に取り組んでまいりました。また近年は献血会場および年間の開催回数の増加につとめ、2021年度はリモートワークの影響もありましたが、81名の従業員が献血に協力をいたしました。

当社ではこれからも個人でできる身近な社会貢献のひとつとして献血に協力してまいります。



左：大阪府赤十字血液センターより厚生労働大臣からの感謝状をいただきました

右：2022年7月と9月に開催された大阪本社および滋賀工場での献血活動のようす

